

令和3年度

本校教育に対する保護者アンケートの記述回答

8 保護者意見

保護者アンケートの中でいただいたご意見・ご質問については下記の通りです。

<学 習>

- ・タブレットの使い方はだいぶ慣れてきたように感じますが、不具合が生じた場合の対処の仕方や宿題が全て終わったのかの確認が出来ず、出来る範囲で対応しています。親は何を見てあげたら良いのか、どう対応したら良いのか、学校側からの要望などありましたら、共有して貰いたいです。
- ご家庭でのご対応ありがとうございます。ほとんどのことは学校で担任がチェックして個別に指導しておりますので、現在は、ご家庭では見守っていただき励ましていただくことだけお願いいたします。頂戴いたしましたご家庭での確認の仕方について、今後どのようなことをお願いするか、これから検討させていただきます。
- ・成績が良くない教科について、補習を行ってほしい。(任意ではない)
- 学校でもできるだけ補習をしたいと思うのですが、今のような週五日制になってからは残して補習するということがかなり難しくなりました。担任は毎日常に新しいことを授業で教え、授業が終わると(6時間授業では15:45)放課後も残して指導する時間があまりなく(下校時刻は夏16:30/冬16:00)、会議やその日の授業の後片付けをしているとあっという間に夕方の退勤時刻の16:45になります。その後はほとんど全員がほぼサービス残業のような形で次の日の授業の準備やその日の事務整理、生徒指導問題への対応などを行います。もちろん習得状況がよくない単元については学び直し(復習)をするようにしておりますが、授業時間数も限りがありますので、宿題やご家庭での自主学習も活用しながら補習と同じような効果を出していきたいと考えます。
- ・タブレット学習は必要と考えますが、週末の宿題の際に、他のアプリやコンテンツを閲覧出来ないように宿題しか出来ないようなタブレットがあれば、そちらを選択したいです。
- 学校では「このタブレットは『学習』のためだけに国から支給されているものだから、学習以外には使わないこと」と約束して児童に配付しております。ですから、ご家庭ではお子さんの使い方について見守っていただき「学習以外に使っている場合」には厳しくご指導いただきたいと思います。尚、配付しているタブレットのみならず、スマホやパソコン、通信機能があるゲーム機など(親が貸している場合も含め)の使用には保護者の皆様の管理が重要です。お子さんがネット上のトラブルに巻き込まれた場合保護者の責任が問われる場合がありますので学校でも繰り返し指導しますが、ご家庭でもお子さんのタブレット等の使い方についてはご留意願います。
- ・家庭での学習について積極的にやるようにいつも声掛けしておりますがなかなか前向きに取り組んでいません。学校の方からも今以上に指導していただければありがたいです。よろしくお願いたします。
- 自分の経験からも、「絶対こうしたい!」と強く心に思わなければ中々進んで学習に取り組めなかったことを思い出します。私自身、一度浪人して「これ以上浪人は許されない」二度目の大学受験と教員採用試験の直前に周囲から遅れた分を取り戻そうと、そのときは火の玉のように勉強しました。よく「なぜ勉強するの(しなきゃいけないの)?」と子どもに聞かれて、漠然と「将来のため」と答えてしまうことがあります。果たしてそれで子どもは納得するのでしょうか?いいえ、納得しないことがほとんどです。ただ、一つずつ「初めて当たる問題」を解決するたびに、粘り強く、あるいは多面的に考える力が身に付いていると思います。算数の難しい面積の公式は大人になっても使うことは無いかも知れませんが、「いくつかの図形に区切って面積を求め、最後に合わせればいい」というような考え方は、大人になって様々な仕事を区切って最後にまとめるような場面でも生かせるはず。学校では、「今日は〇〇について勉強します。昨日ま

でとどんなことが違いますか（新しいですか？）と聞いて学習を始め、授業の終わりに「どんなことができるようになりましたか？」と成長を確かめる振り返りをしています。一つ一つの学習での小さな達成感を積み重ね、子どもの成長を見取り、認め、励ますことが大切だと思います。

＜タブレットを持ち帰る・持ってくる日について＞（まとめ）

- ・タブレットも、最近では慣れて楽しくやっているようですが、荷物の重い金曜に持ち帰ってきて、月曜に持って行くのは一年生には負担が大きいと感じます。火曜から木曜の間ではダメなのでしょうか？先生方も色々と重くないように、あまり使っていない週は運動着など置いていくように考えてくださっている事は、わかりますが。来年からは、もう少しご検討いただければ幸いです。今後とも、子供達が楽しく、安全に学校生活が送れるようご指導よろしくお願ひいたします。
- ・土日のタブレット学習についてですが、なぜ土日なのでしょう？たださえ体操着や上靴等持ち物が多いので、重いタブレットを入れて帰る日は平日でもいいのではないかと思います。徒歩通学をしていますが40分程かかります。もっと遠くから通学している子もおります。月曜の朝は荷物が多く転びそうになりながら通学する様子があります。時間のとれる土日に、書く（日記や作文など）学習に力を入れても良いのではないかと思います。
- ・タブレット学習が始まってから、週末と週の始めに子どもたちが持つ荷物の量（重さ）が多いことが気になっています。特に夏場や冬場は身体にかかる負担が大きいのではないかと心配になることもありました。家庭でのタブレット学習は大切ですし、これからも継続して行っていただきたいと思っていますが、少しでも子どもたちの負担が軽くなる方法があればご検討いただけたら幸いです。
- ・タブレットの持ち帰りで机に向かう姿勢を良く思います。が、月曜の登校は荷物が多いので、火曜の持ち物にしてほしいです。

→ご意見ありがとうございます。低学年には重いタブレットを月・金に持たせる（持ち帰らせる）ことに対する配慮に欠けていたと反省しております。学年によって持ち帰る（持ってくる）日を若干変更しました（高学年は毎日授業で使用するので毎日持ち帰り）。尚、これまでのタブレット使用の状況は、サーバーへのアクセス回数を基に判断すると松岩小学校の児童が市内で最もタブレットを使用しているようです。児童へのアンケートでは「もっとタブレットの学習を増やしてほしい」という意見もあり、タブレット学習は児童の学習意欲を高める効果もあります。また、将来仕事等でもきつと役に立つ技能となることと考えております。今後も無理の無い範囲でタブレットを積極的に活用して参ります。

- ・相手の立場になって考えることを考えるために、子供たちにどうしたら？という疑問を解決するための時間が必要かと思ひます。中学生の殺傷事件もあり、言葉では伝えてるとは思ひますが、子供たちが考えてみんなで話し合い答えを見つけて学ぶほうが、心にのこり、最悪の結果につながらず、とどまることのできる人に成長できたら良いと思ひるので、大変だと思ひますが、時間のつくかぎりでのいいので、思いやりを伸ばす授業があればと思ひます。

→ご指摘ありがとうございます。本校に限らず、全ての小学校では道徳の授業で「相手の気持ちを考えることの大切さ・必要性」について数回取り上げています。また、例えば日常生活の場面でも、発生した子ども同士のトラブルについて「何がいけなかったのか？」「どうすれば防ぐことができるのか？」「今後はどんなことに気を付けて生活していけばよいか」など授業中や休み時間を問わず、機会を捉えて指導しております。私の個人的な感想で申し訳ありませんが、近年、過激なドラマや映画、ゲームが増えて、相手を倒すことが平気で画面上に現れるようになった気がします。一部の学識者が既に唱えているように、子どもの気持ちを荒れさせてしまうようなメディアから子どもの心を守る対応が必要だと考えています。

＜生活＞

- ・将来の夢を書いた際には、ユーチューバーやスポーツ選手などは現実的ではない為他の夢を持ちなさいというような事を担任ではない先生に指導されたようです。現実的ではないのなら、どのような努力が必要なのかまた夢を持つ意味などを指導してほしかったと思ひます。学校という場所で未来について否定的な指導が行なわれたことを悲しい気持ちになりました。

→昨年の3月に朝会で講話した際に、「仕事は甘くない」というタイトルで「あこがれるだけではプロのスポーツ選手になったりユーチューバーの仕事だけで生活したりしていくことはできな

い」という話をしました。「プロの野球選手になるには県で1番になるくらいに上手にならないとむずかしいかもしれない」「ユーチューバーには誰でもなれるが、たくさんフォロワーというお客さんが付かないとお金が少ししかもらえない」という話もしました。ご存じのようにプロ野球選手は毎年100人ぐらいがプロとして契約しますが、その後一軍に上がって何年もレギュラーになる人間はほんの一握りです。そのプロになるにしても難しいし、せっかくプロになっても二軍、三軍で活躍ができず、最後は契約打ち切りとなり野球で生活していくことはできないのです。またユーチューバー（世界中の人々に感動や驚き、笑いを提供するクリエイター）で生活できる人もほんの一握りで、誰にでも動画を撮って配信するだけで簡単にユーチューバーにはなれますが、フォロワーが10,000人だと一月で10万円くらい稼げると書いてあるページを見ましたが、フォロワーを獲得するためには「高い企画力や編集能力、さらには声や演技力」「マーケティング能力」が求められるのだそうです。朝会で話した元自衛官でユーチューバーになった方は月6,000円、お笑いコンビ「二丁拳銃」の小堀裕之さんはフォロワー3,170人で月4万円の収入なのだそうです。ですから、「ただ〇〇になりたいと思うだけで無く、ユーチューバーなら勉強で表現力などを磨く必要がある」と話しました。決して「現実的では無い」などと話したわけでは無く、何事も今学んでいることが役に立つという話をしたつもりです。

話は変わりますが「ゲームをすることが大好きだから」という理由だけで「(ゲーム)プログラマー」になれると思っているお子さんもいますが、「ゲームで遊ぶ」と「ゲームを創る(プログラムする)」ことの次元の違いについては大人がじっくり教えていかなければならないと思います。心配なのは自分の未来について何の保証も無いのに「僕はプログラマーになるから(今学校の)勉強はしなくてもよい」と思っているお子さんがいることです。

(余談ですので興味が無ければ飛ばして下さい)

余談になりますが、私自身「あこがれ」を引きずって生きてまいりました。ミュージシャンに憧れて、大島中時代はギターに夢中になり成績はガタ落ち(学年1番→一気に10番以下)、気仙沼高校には進学しましたがまたもや音楽に夢中になり第1回目の大学入試は不合格で浪人することに。一年間音楽を封印して何とか宮城教育大学に合格しましたが、またもや懲りずにバンドのサークルに入って、プロを目指して(各大学の学園祭に出演するなど腕を磨き)、プロへの登竜門「コカコーラ・フレッシュサウンズコンテスト」にエントリーし、東北で第3位にはなりはしましたが東京の本戦には進めずに、プロへの道は断念しました。しかし、考えてみると周りにはセミプロで私より才能があり、カリスマ性があるのにプロになれなかったり、プロになっても最初の頃しか注目されず、一年後にはステージを降り音楽事務所の時給500円の電話番号をしていたり、そんな知り合いが何十人もいて、簡単にはプロにはなれるはずが無いしプロになれたとしてもずっと音楽業界で生き抜くことがめちゃくちゃ難しいことを痛感しました。そんなこんなで大学も4年で卒業するのも難しいぐらい取得した単位が少なく(2年間で55単位…卒業には129単位が必要)、さらには教員採用試験も突破しなければならない状況でした。でも、幸いなことに私には子供の頃からある程度蓄えていた「知識」があったので必死で挽回し、4年での卒業が可能となり教員採用試験にも合格し、現在まで教員として生活しています。ずっと真面目に勉強してきたわけではありませんが、必要なときに必要な学力を蓄えていたため、「憧れ」とは違う、「子供の頃抱いていた夢の一つ」の教員になれたのだとしみじみ思います。

(昨年度の職業観についての校長コメント)

→夢や目標をもつことは大切です。本校でも「志をもつ」ということで「どんな生き方をしたいのか」ということを「朝会」で子供たちに考えさせています。ただ、人気の職業に憧れることは悪いことではありませんが、人気の職業はそれだけなりたい子が多いので、自分のよき・強みを大切に考えさせたいと思います。先日、朝会で漫画家「手塚治虫」の生き方を取り上げ「夢は二つ以上もちなさい」という彼の言葉を子供たちに紹介しました。手塚治虫は「医者」と「漫画家」の二つの夢をもっていたのだそうです。どちらも成功するには大変な職業ですが、手塚さんは「医者になりたいけれど、なれなかったら漫画家になろう」と決めていて、医者の夢が叶わなくなりそうになったときに漫画家を目指したのだそうです。「夢は二つ以上持ってください。僕も漫画家と医者という二つの夢を持っていました。夢が一つしかないとその夢が破れた時挫折してしまう。でも二つ以上夢があればそうはならないでしょ」と。子供たちに聞くと男子は「プロ野球選手」「サッカー選手」「ゲームのプログラマー」「E-スポーツ(ゲーム)の選手」、女子は「アイドル」「漫画家」などが上位に来ます。もちろん「公務員」「先生」など

もありますが、大切なことは「単なる憧れ」「楽で儲かる」などの理由ではなく、「生涯を通して取り組める」「自分の強み・性格が生かせる」という視点で将来の仕事を考えることが大切かと思えます。更に、昨年の朝会では「10年後なくなる仕事」というテーマで「AIによって人の仕事がどんどん機械に取って代わられている」ことを話しました。世の中の動きをしっかりと見ていかないといざ大人になったとき「自分が目指していた職業が消滅していた」ということになりかねません。実際、スーパーのレジの半分は自動化され、都会の大手銀行の窓口の人もどんどん減らされています。自動運転によってタクシーやバス、トラックの運転手も近い将来消えると言われていています。ご家庭でもニュースや新聞でお子さんの将来に関わる話題について親子で話し合っただけであればと思います。世の中はすごいスピードで動き、変化しています。世の中の変化に対応できる強さも身に付けていかなければならないと考えています。

子供たちには「将来役に立つ」と言ってもピンとこないかも知れません。しかし、勉強したことはいつか「自分を救ってくれる武器になるかも知れない」ことは言い続けたいと思います。

「夢や憧れ」をもつことは大切です。一生を支えるものにもなります（私もまだ夢を捨てきれず、家には10本以上のギター、ベースがあります）。でも、「なりたいものになれる保証」はありません。最低でも何があっても「自分自身で生活していくための十分な学力・技能」を身に付けさせてあげるのが我々大人の役目だと思います。

- ・通学路の歩道が狭く、心配です。
 - ・通学路に関し、不安に思うこと多々あるので要望します。杉の沢地区から登下校していますが、指定された通学路は杉の沢地区以外に歩道が全くない場所を歩かなければならない状況です。特に朝の通学時間帯は、通勤の車がかなりのスピードを出しているのを見かけます。また、これはそのドライバーのマナー等によるものですが、子供スレスレに通過する車も何度も目撃しています。今年6月に千葉県で起きた小学生が犠牲となるトラックの事故と同じ事故がいつ起きてもおかしくない状況だと日々思っています。全面的な歩道の整備等は大変難しいことだと思いますが、少しずつでも整備が進むことを願います。早急な対応として、歩道のある道路への通学路の変更やスクールバスの運行を水梨地区に限らず通学が危険な地域へのルートへの延長、また、スクールゾーンエリアの拡張のための関係機関への働きかけを要望します。そのためならば、保護者、地区役員として全力で協力します。
- 過去からずっとと言われており、私の在職中もずっと市当局に「さらなる安全対策」を要望してきました。昨年度は気仙沼警察署の交通課長をお呼びして「ゾーン30」という学校周辺の道路の更なる厳しい交通規制を目指しましたが「枝道」が多く「ゾーン30」の指定には至りませんでした。しかし、学校前の速度制限を40キロから30キロに下げただけ、道路標識も見やすくするために位置変更もしていただきました。今現在も路側帯を色分けしていただくように要望しておりますが、今後も継続して更なる安全対策を要望してまいります。
- ※制限速度が下げられても時々明らかに速すぎるスピードで通過する車もあります。警察には移動式オービス（自動速度測定取締機）での取締等も要望しております。

・兄妹もいて、土曜日でも仕事をしていると洗濯物の多い金曜は大変なので、日数が少ない週は運動着類を持ち帰らないのは助かります。

→今後もそのように対応させていただきます。

・食生活の指導、健康習慣についても指導願いたいです。

→学校では校長の朝会での講話や学校だより、養護教諭による昼の放送での保健指導などで「食育」「健康」についてお話ししています。しかし、いくら校長が「車でばかり送っているはお子さんの体力が（本当は20代まで向上するはずなのに）10代で下降（老化）しますよ」と言ってもなかなかご理解していただけない保護者が多く、また、養護教諭が治療の必要なお子さんの保護者に「放っておくと後で深刻な病気につながるかも知れません」とお便りを出してもしっかりと受け止めて下さる保護者ばかりではありません。近年、本来はご家庭で指導すべき部分も学校が働き掛けるようになってきており、学校への期待はますます高くなる傾向にあります。このまま学校が抱え込むと他の部分（特に本来の学校の役目である「学習指導」）がおろそかになってしまうことも懸念されます。引き続き学校でも指導はしてまいります。どうぞ、お子さんに必要なことはご家庭でもご指導いただきたいと思います。

・タブレット学習の機会が増える事に対して目の負担にならないか心配があります。

→ご指摘通り、市内の学校の多くは視力が低下しているようです。幸い本校では昨年2月に「全国一斉臨時休業が原因と思われる視力低下問題」に気づき、タブレット導入時の留意事項を各担任に指示しました。また、併せて子供たちにも「遠くを見て眼を休ませること」「満月や月食などの天体現象を観察することの勧め」などの働き掛けを行ったことにより本校では視力が改善傾向にあります。教育委員会の指示は出ていないので、恐らくこのような視力低下に対する取組は本校だけだと思われます。どうぞご家庭でも「3つの20」についてお子さんと話し合い、視力を守る取組をご家庭でも継続していただければと思います。

・学校の先生方やご友人にはいつも大変お世話になっておりまして、感謝しかありません。本当にありがとうございます。1つだけ、先生方にお伝えしたい事があります。不織布マスクの件です。マスクは、感染者が咳をした時に飛沫を防ぐ物であり、感染そのものを防ぐ事はできないそうです。10歳未満の子どもの脳は、全身の50%の酸素を消費するそうです。子どもは体が未発達であり、成長期には大人よりたくさんの酸素を必要とするそうです。マスクを着用することで、酸欠や、夏には発汗機能が弱り、熱中症にも罹りやすくなるそうです。WHOも幼い子どものマスクは不要と言っているそうです。文部科学省も学校でのマスク義務の指示は出していないそうです。日本の学校で、マスク着用中に運動をして死亡した例もあるようです。マスク着用を義務化したいのであればガーゼマスクや布マスクを推奨して頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

→ご指摘の「酸素の吸入がしにくい点」については校長も個人的に懸念しておりました。大人でさえ慣れないうちは息苦しく、特に寒い朝に横断歩道に立って子供たちに挨拶をしていると湿気でマスクが詰まり苦しくなってしまいます。さて、不織布の励行については市教委からもそのような指示がありました。また、最近の「濃厚接触者かどうかは（保健所以外の）それぞれの所属で判断する」という通知の中に「不織布マスクか否か」で濃厚接触者にするかどうかを決めるという判断基準があり、マスクの要件として「不織布である」ことは重要になっております。よってガーゼマスクや布マスクの推奨はできないことをご理解下さい。子供たちには「苦しくなったら無理をしないで（先生に言ってから）外しましょう」と話しております。また、学校でも不織布の推奨はお願いベースであり、必ず不織布のみと厳しく期制しているわけではありません（これでよいかどうか迷いますが、息苦しくて体調不良になることはさげなければなりませんので）、どうぞ学校からのお願いとお子さんの実態によって保護者の皆様のご判断で対応をお願いいたします。

<学校行事>

<持久走大会を実施しないことについてのまとめ>

- ・前年度より持久走大会がなくなり 学習方面が苦手でそのような行事で自分に自信を持つ事ができる子供達の発揮する場がない事が残念に思います。（前年度 説明文をいただきましたが 他校では今年度も行事として行なわれておりますし、書写や絵などの分野においても順位をつける場面はたくさんある中、このような行事のみ排除されることに疑問を感じます）
- ・持久走大会を楽しみにしておりました。 野外での行事ですし、コロナの影響も少ないと思えますが、年間行事からも消えていてとても残念に思っております。

→残念なお気持ちは理解できます。昨年度の文書の通り、持久走大会を行わない理由としては、「令和2年度から全面実施となる学習指導要領では『持久走』に当たる部分が以下のように記述されています（要約しました）。

- 1・2年：無理のない速さでかけ足を2～3分程度続けること。
- 3・4年：無理のない速さでかけ足を2～3分程度続けること。
- 5・6年：無理のない速さでかけ足を5～6分程度続けること。

以上のように、「無理のない速さで」と示されている以上、大会形式で競争させ「無理をする状態」を作り出すことはできません。もし「無理をした状態」で児童の健康・生命に危険があったら「学習指導要領を逸脱した行為」であり「学校教育で実施すべきではない」ものになります。今でも旧来の持久走大会を実施しているという学校は学習指導要領の本旨をきちんと読み取っていないと考えます。（市内の約半数の学校は、持久走大会を実施しておりません）

<学習発表会の映像配信についてのまとめ>

- ・最近、学校生活にも慣れ楽しく学校に通わせて頂いてます。先生方のお陰だと感謝しております。担任の先生も話しやすく、子供も楽しく学んでいる様子が先日の参観日で見られました。ただ、近隣の気仙沼市の小学校に比べ、去年から学校行事が縮小傾向にあると感じます。学習発表会も松岩小学校は、コロナが長期間気仙沼で出てない中、何故 YouTube 配信だったのでしょうか？YouTube は、録画も難しく、せめて DVD 販売等にしていただきたかったです。

- ・コロナが落ち着いたときの保護者の行事見学を臨機応変にさせていただきたかったです(学習発表会)。

→「感染が落ち着いているのになぜ体育館でやらなかったのか？」というご意見としてまとめてお答えいたします。確かに学習発表会の時期には大分感染状況が落ち着いておりました。恐らく「参観者の感染防止」だけを考えれば体育館に保護者を入れての実施もできなくは無かったと思います。しかし、体育館で行うとしたら楽屋として使うステージ脇の小部屋は狭く、児童が密な状態にならざるを得ませんので安全上からも体育館のステージを使うことはできないと判断しております。またその課題がクリアでき、体育館に観客を入れるとしても、学年の演技ごとに観客を総入れ替えしなければならなかったはずで、校庭の車の出し入れや参観者の検温等で、午前中だけでは無理で夕方いっぱいかかる見込みでした。また、その場合でも体育館に入れたのは一家庭一人に制限させていただくことになったはずで、「臨機応変に」ということは「感染が落ち着いたら有観客でよい」ということだと思いますが、学校行事は概ね一ヶ月前の状況で判断します。急に変更すると練習したことが無駄になりそれだけ児童にも負担がかかります。一ヶ月前に「これなら安全にできるだろう」という方法を選びましたが今でもそれは妥当だと考えております。

- ・コロナ禍で行動を制限されましたが、あまり不便を感じませんでした。伝統を続ける事も大事だが、やらなくても支障がないもの、必要性が無いものは時代に合わせて見直したほうが良いと思う。

→ご指摘の通り、このコロナ禍では既存の行事を含め、「今、子供たちには何が必要か？」という視点で教育活動全体を見直しながら取り組んでまいりました。この状況が収まったら以前のように戻すべきもの、このまま見直した状態で継続・発展・解消すべきものがありますが、「子どものため」という視点で常に見直しを図ってまいりたいと思います。

- ・説明会でもお話しましたが、野外活動の期間にコロナ関連の緊急事態になったとしても、中止にだけはしないでいただきたいです。活動が十分でないとしても宿泊はせめてしていただきたいです。万が一5年生で実現できなかったとしたら、6年生の春など検討できればおねがいします。5年生で成長には欠かせない行事という先生方のお話もありましたので どうぞよろしくおねがいします！

→おかげさまで無事に実施できました。感染状況がやや心配な中、実施に賛同していただき感謝申し上げます。実は実施の一週間前、市の教育長から「心配なので中止してはどうか」と話がありましたが、以前から私が保護者の皆様とお約束した「中止とする基準」になっていなかったこともあり、施設の管理状況は万全であり、最大限の感染防止対策を講じることで安全に実施できると判断し、私の責任に於いて実施いたしました。仮に実施できなかったとしても、日帰りで雪遊びをするなどの代替行事はある程度検討しておりました。おかげさまで5年生は「協力」「友情」の大切さを実感し、仲良く学校生活に取り組んでおります。

- ・防災訓練の振替休みはいらない。

→防災訓練は本校の児童が参加することで、本校の職員には「児童の出欠の確認」「指導（補助）」という地区の自治会からの協力要請があり、職員も参加します。職員は勤務扱いとなります。もし、振替休みを無くすとしたら職員の派遣はできません。そのため、この日を授業日とし、後日振替休業日を設定する必要があります。毎年、「自由参加にして授業日扱いしない方がよいのでは？」という意見が出ますが、学校としてはいつ起こるとも限らない災害に備えて、「自分の地区で行われる防災訓練に参加することは最も重要なこと」と捉え授業扱いとし、振替休業日も設定しております。

<その他>

- ・現代は、インターネットが生活には欠かすことのできない一部となり、学校や家庭との関わりの他に社会とのつながりが子供の成長よりも早く訪れていると感じています。親の世代とは比較できませんが、このような状況から親も追いつくのに精一杯です。人として生きるために必要な道徳や倫理、理念等これからは特に必要になってくるのではないかと思います。子供達は将来の地域の宝です。学校教育方針等もあるかと思いますが、先生方のご指導をよろしくお願い致します。
- ご心配されていることはよく理解できます。しかし、教職員も時代の流れに合わせて指導することは容易ではありません。昨年度末から全児童にタブレットが配られ、教職員のタブレット活用は必須の技能となりましたが、タブレットの活用についての研修も十分とは言えず、毎日夜遅くまで自宅で練習している職員も沢山おりました。日々進化し続ける時代の流れに追いつくことは至難の業です。学校も真剣に情報教育に関するモラルなどの指導は行っておりますが、ご家庭での使用状況については把握することはできません。ご家庭でのお子さんのICTの活用については保護者の皆さんの責任に於いて見守っていただきたいと思っております。
- ・ホームページや学年のお便りでどのような活動をしているのかが分かりやすく助かっています。
- おかげさまで今年度からホームページも充実した内容で学校の話も提供できるようになりました。今後も学年だよりなどで情報を積極的に提供させていただきます。
- ・初めての小学校の生活なので、特に感じたのかもしれませんが、保護者に対する色々な情報が足りなかったり遅かったりして困る場面がありました。安心して子供たちが生活できるように、もう少し事前に情報を伝えていただけたらと思っておりました。
- どのような情報だったのか具体的にお知らせいただくと早期の改善につながれると思っております。是非、連絡帳やお電話でお知らせいただくと助かります。1年生の担任にはできるだけ必要な情報を早めにお伝えできるように指導します。
- ・外トイレをなおしてほしい。
- 教育委員会には毎年改善要望を出しております。
- ・学校からマチコミやプリントでこまめにお知らせをいただいているおかげで、いろいろな情報を知ることができ、とてもありがたく思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。
- 必要な情報は適切にお知らせできるように心掛けております。ありがとうございます。
- ・家でちゃんと子供を見えていますか？というような内容を連絡帳に書いてくるが、学校であった黒板消しのカスが目に入ったというようなことは連絡帳に書いてこない。連絡帳に書いてくる先生の言葉のチョイスが良くない。
- 職員には指導いたします。
- ・進級時、名札を個人で購入するのではなく、一括で配布し学校集金で名札代を徴収するというのはいかがでしょうか？
- 防犯対策の観点から、次年度より名札を裏返すことができるものに変えました。そこで、今年度末に全児童に一括配布し、次年度の学校集金で徴収いたします。
- ・先生方が生徒一人一人に声をかけてくださるようで、見守ってもらいながら学習や学校生活を過ごしていることが、娘の話を聞いていて伝わってきます。ありがたいです。
- ありがとうございます。職員一同今後も子供たち一人一人に目を配ってまいりたいと思っております。